

平成 29 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 あかい屋根

1 事業活動報告

菅生こども文化センター及び蔵敷こども文化センターの運営も順調に推移してきている。活動内容の充実を図りつつ、地域への認知度を高めることを重点課題として運営した。特定非営利活動法人あかい屋根の活動をホームページ及び広報誌「ひまわり」、フェースブックで活動内容を紹介した。平成 27 年度から導入した地域ポータルサイト「宮前ぽーたろう」の「宮前区こども子育て情報 とことこ」へ毎月のイベント紹介も継続実施している。子育て世代に関心ある方の反響が大きく、幅広く広報したことにより、菅生地区以外で横浜市境地区からの来館者も増え、両こども文化センターの行事予定や実施状況を周知できて来ている。来館者は菅生こ文、蔵敷こ文共漸減状態となったが、夜間利用者が増えている。菅生小わくわくプラザは1～3年生のクラスが4クラスになったことにより利用者が月平均250名増加。「犬蔵わくわくプラザ」は利用者横ばいであるが飽和状態は続いている。

「福祉有償運送・福祉タクシー事業」は、利用を病院への送迎に限っているため、潜在需要が強い地区ではあるが利用者は固定してきている。早朝からの送迎を検討する時期に来ている。

個人正会員	団体会員	福祉会員	個人賛助会員	団体賛助会員
57名	8団体	10名	2名	1団体

なお、年間を通じ諸活動において、無償ボランティアの多大な協力があり、年間延べ599名 3,384時間の提供を受け、金額にして約328万円の支援を受けています。

2 事業内容

① 地域市民が安全で快適に暮らせるまちづくりに関する事業

- ・内 容 ○こどもに関する菅生地域の施設連絡会とそれらの施設を利用している地域活動の主旨賛同のもとに「第5回すがおてつなぎまつり」を実施。全員参加型で今年度も大変盛り上がったイベントが開催できました。○蔵敷・菅生こども文化センター双方のPR効果も大きく幼児とその母親の来館者は増加傾向にある。○福祉有償運送事業は火曜日・金曜日に集中、運転ボランティアを探しているが協力者がいない状態。
3月までの登録者数10名、延べ利用者312名。

- ・日 時 通 年
- ・場 所 菅生・蔵敷こども文化センター
- ・従事者人員 3人
- ・対 象 者 一般市民と施設関係者 約1,500名
- ・支出実績額 133,005円
- 参考 福祉有償運送事業収入額 231,850円



② 川崎市施設の指定管理受託事業

・内 容

1. 菅生・蔵敷こども文化センター及び稗原・菅生・犬蔵小学校わくわくプラザの管理・運営

実施した主なイベント

別紙NPOあかい屋根平成29年度こども文化センター関係事業報告書参照

2. ○菅生こども文化センターへより多くの幼児が来館しやすくなる工夫として、昨年同様敷地入口へ立て看板を設置し、幼児も利用できることを引き続きアピールした。

○集会室壁面が鏡面であることで、近隣高校2校のダンス部生徒、フラダンス・カントリーラインダンス・コーラスグループなど各種団体が前年度同様競争状態で予約・利用しており、利用者が前年同様となっている。

3. 蔵敷こども文化センターでは、隣接の子育て支援センターすがおで「こぶんらんど」を前年同様継続開催し、個性あふれるイベントを行うことで多くの来館者と接し、こども文化センターの魅力を伝えている。

・日 時 通 年

・場 所 川崎市

・従事者人員 職員12人、 臨時職員52人

・対 象 者 川崎市市民他 来場者数 延べ117,264人（前年比4.2%減）

・支出実績額 指定管理事業 84,638,829円
わくわくプラザ事業 2,192,592円

・恒常的な施設利用者

菅生こども文化センター	蔵敷こども文化センター
*幼児クラブ	*ありんこクラブ
*ひまわり人形劇	*子育て講座・保育
*おやじの会	*手しごと座
*フラダンス（2団体）	*クラウン芸
*唱歌を歌う会	*新婦人（ストレッチ）
*高校生ダンスサークル	*ジュニアリーダー
*カントリーラインダンス	*エアロビクス
*ヨガサークル	*健康体操
*卓球クラブ（3団体）	*詩吟
*向丘地区子ども会連合会	*むつわクラブ
*囲碁（2団体）	*ゆりの会
*稗原団地子ども会	*蔵敷親和会子ども会
*親栄会	*菅生中学校区地域教育会議
*コーラスグループ（4団体）	



29年度作成新遊具

丸太渡り⇒

←フライングゴルフ
9ホール



③ 地域市民である子どもに健全な遊びを提供し、心身共に発達を保障する事業

- ・内 容 ○菅生こども文化センターを基点に「冒険遊び場」を提供する活動の一環として、毎週水曜日の「あそべ場の日」も定着し、手作り工作や屋外で思い切り遊ぶ子たちが増加した。
○新遊具としてフライングデスクゲートを9基設置、大好評となっている。
○蔵敷こども文化センターは、屋内遊具の整備及び屋内遊具及び図書書棚を子どもたちと職員・運営協議会メンバーで今年も合同製作した。
○こども文化センターの図書プロジェクトは、自前購入図書も含め宮前図書館貸出制度を活用し、こどもたちの興味ある図書を提供することが出来た。
- ・日 時 通 年
- ・場 所 菅生・蔵敷こども文化センター
- ・従事者人員 4人
- ・対 象 者 来場者数 延約1,700人
- ・支出実績額 実質経費なし

④ 地域市民が自ら暮らしやすいまちにするための学習活動を保障するために、社会教育の企画運営事業

- ・内 容 ○地域教育会議と連携し北村年子さんの「さとにきたらええやん」～私たちがこの地域で取り組めることは～を実施し、地域での見守りなどについて話し合いを持った。
○菅生中学校地域教育会議と連携し、菅生地域の児童に関する団体相互のネットワーク化を図る「道親ネットワーク」を支援し、地域市民の社会教育支援を前年に引き続き行った。
○地域教育会議の学習支援部会が実施している「稗原小学校算数名人」「稗原小学校火おこし体験」の支援を行った。
- ・日 時 通 年
- ・場 所 宮前市民館菅生分館、稗原小学校
- ・従事者人員 5人
- ・対 象 者 地域市民及び小学生 360人
- ・支出実績額 実質経費なし

